

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日  
平成30年 9月 7日 (金)

2 確認箇所  
一時保管エリアP1

3 確認項目  
一時保管エリアP1の状況

### 4 確認結果の概要

一時保管エリアP1には、低線量率の可燃物等の廃棄物や土砂が屋外保管されているが、8月7日の台風時、東京電力が当該エリアの排水枡にて採水したところ、セシウム137が99Bq/L、全βが360Bq/L検出された。なお、当該排水枡のさらに下流の陳場沢河口においては、放射性物質の有意な上昇は確認されなかった。

東京電力は、台風時の降雨により、側溝に流れ込んだ土砂に付着した放射性物質が検出の原因と考えており、応急的な土砂の流出防止対策を講じたことから、対策の状況を確認した。

- ・当該エリアに保管されていた土砂は、白色のシートで養生されており、下流となる側溝方向にある土砂等が流出しないよう周囲に土のうが積み、土砂の流出防止対策が実施されていた。(写真1)
- ・また、当該エリア周囲に敷設されている側溝は清掃されており(写真2)、ゼオライト土のうが設置されていた(写真3)。



(写真1-1)



(写真1-2)



(写真2)



(写真3)

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。